

予防接種の接種月齢，接種順と接種完了率

カトウ マサヒロ カワド ミユキ セコ ルミ
加藤 昌弘* 川戸美由紀^{2*} 世古 留美^{3*}
ハンモト シュウジ オカベ ノブヒコ
橋本 修二^{2*} 岡部 信彦^{4*}

目的 百日せき・ジフテリア・破傷風混合（三種混合）1期1回，2回と3回，ポリオ1回と2回，麻しんの6種の予防接種について，接種月齢と接種順の状況を示すとともに，標準接種年齢内の接種完了に対する1番目の予防接種の接種月齢および接種順の関連性を検討した。

方法 愛知県大府市において，2歳・4歳・6歳児から無作為抽出した900人に対し，予防接種の接種状況を郵送法により調査した。回収者757人の中で，23か月齢末までの6つの予防接種状況が得られた721人について，接種月齢と接種順を検討した。

結果 三種混合1期1回，2回と3回，ポリオ1回と2回，麻しんの予防接種について，23か月齢末の接種率は77～93%であり，月齢別の接種率のピークは，それぞれ6，8，10，5，10，12か月齢であった。接種順としては，ポリオ1回，三種混合1期1回，2回と3回，ポリオ2回，麻しんの順が21%と最も多かった。6種の予防接種全体の標準接種年齢内接種完了率は37%であり，1番目の予防接種の接種月齢が遅い児，また，ポリオ2回が最後となる接種順の児で低かった。

結論 予防接種の接種月齢と接種順の状況を示した。1番目の予防接種の接種月齢と接種順が標準接種年齢内の接種完了に関連することが示唆された。

Key words：予防接種，接種月齢，接種順，接種完了率

* 豊橋市保健所

^{2*} 藤田保健衛生大学医学部衛生学講座

^{3*} 藤田保健衛生大学医学部衛生看護学科

^{4*} 国立感染症研究所感染症情報センター
連絡先：〒441-8064 豊橋市富本町字国隠20-8
豊橋市保健所 加藤昌弘